

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年6月3日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4694300072
法人名	社会福祉法人 大川福祉会
事業所名	グループホーム ぼだい樹
所在地	鹿児島県南九州市穎娃町別府2796番地1 (電話) 099-27-4566
自己評価作成日	平成28年4月15日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成28年5月23日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

リビングからは開聞岳が一望でき、天気の良い日は遠くは大隅半島や硫黄島、竹島などの離島も望むことができる場所に位置しています。ぼだい樹では地域との繋がりを大切にし、ドライブや買い物における地域住民との交流。近隣地区で開かれる運動会や花火大会・ゲートボール大会などの行事にも積極的に参加しています。年に1度は地域住民の方にも避難訓練に参加していただくなど地域の方との交流を深めています。また、余暇時間にはドライブや屋外散歩・音楽鑑賞・マイクロ治療器・マッサージ機など入居者様のニーズに応じたサービスを提供しながら残存機能や能力の維持向上を目指しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所の母体法人は、特別養護老人ホームを中心に、養護老人ホームやデイサービスセンター・保育園等を運営している。地域からの要望に沿って各事業を開始しており、地域の受け入れや協力等の良好な関係が築かれている。多数の住民が法人の行事に参加したり、避難訓練終了後にホーム見学を行う等、地域に開かれた事業所として住民との交流を積極的に行っている。
- ・養護老人ホームに隣接しており、厨房での調理及び行事参加等で日常的に職員の交流があり、緊急時及び災害時等の相互協力関係が築かれている。
- ・代表者・施設長は職員の資格取得や内外の研修受講を勧め、サービスの質の向上に努めている。職員の負担軽減及び介護に専念できるように調理を隣接施設の厨房で担当する等、職場環境整備に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	年に1度法人全体研修として施設職員の心得や事業所の理念について職員に周知している (H28.3.31)	施設長や全職員でホーム独自の理念を作成し、玄関に掲示している。朝礼や申し送り及び毎月の会議の際に、理念を確認し実践に努めている。今後は、運営推進会議でも理念の周知を図る予定である。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	隣接施設や地域で開かれる行事に積極的に参加している (ゲートボール大会・夏祭り・花火大会・地区の運動会など)	町内会に加入しており、地域行事に参加したり、法人の行事に多数の住民が参加している。散歩や買い物時に知人と挨拶や会話を交わしたり、住民から新茶や採れたてのキャベツや大根などの差し入れも多い。ボランティアも受け入れ、日常的に地域との交流を行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域住民に向けた認知症支援相談のパンフレット配布や施設見学・認知症の方の入居相談も常時受け入れている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>入居者の日常の活動内容や外出支援、リスクマネジメントなどの報告を行い、その内容を会議録に記載し全職員に必ず目を通してもらっている</p>	<p>会議は定期的開催している。入居者の状況や活動内容、外部評価結果などを報告している。行政や地域から得た情報や意見を職員に周知し、運営や地域行事参加等に活かしている。意見を反映させ市開催の津波避難訓練に参加したり、地震対策について検討している。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>運営推進会議で行事や活動内容を報告し、行政担当の方と互いに意見交換を行っている。また、行政からの通達や要望などにも早急に対応している</p>	<p>市の担当者とは行政への報告等で直接出向いて情報交換等を行っている。運営推進会議の場でも相談し、助言等を得たり意見交換を行って協力関係を築いている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束について法人のマニュアルを基に勉強会を開催、職員へ周知している（H27.6）</p>	<p>法人の指針やマニュアルを使用した勉強会を年1回実施し、月1回は職員会議で施設長から身体拘束についての諸注意があり、言葉や薬での拘束も含めて身体拘束をしないケアを心掛けている。日中は玄関の施錠はせず、外に出る利用者には職員が付き添う等で安全な生活を支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待防止についての資料を作成し勉強会で職員に周知を図っている（27.2月）</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>年に1度法人全職員を対象とした人権擁護研修を実施している（H27.11.10）</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居時または内容の改定時、契約書の内容を説明し、入居者やご家族へ疑問等を訪ね、十分な説明を行ったうえで同意を得ている</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>面会時やケアプラン見直し時に本人や家族の要望、意見を伺う機会を設けている。また、苦情相談窓口案内文を作成掲示し、相談・利用が受けられることを説明している。</p>	<p>利用者からは日々の暮らしの中で希望や思いを聞いている。家族からは毎月ホームだよりを送付したり電話での報告をして意見を聞いている。運営推進会議で意見等を出してもらう他、面会時には、職員が相談室等で家族と面談して状況報告を行い、家族からの要望等を聞いて運営に活かしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	職員会議に代表者・施設長にも参加いただき職員の意見や提案・要望を伺う機会を設けている	代表者・施設長は職員会議に参加して、職員の意見等を聞く機会を設けている。ケアに関する提案等が多く出され、利用者の状況変化に応じたケアの改善に活かしている。個別相談は管理者が受けて対応している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	代表者・施設長が定期的に個人との対話機会を設け資格取得に応じた手当を給料へ反映するなどへの対応を行っている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月勉強会を開催、職員へ実技の担当を決め資料作成を依頼するなど介護技術や知識の向上に取り組んでいる。また、研修日程表を基に外部研修にも参加できるように希望者を優先に勤務を調整している		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	隣接施設や同法人施設との交流、地域で開かれる研修・交流会にも参加し、情報交換を行うなどサービスの質の向上に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	新規入居にあたり事前に本人と面会し不安なことや要望を伺い、安心して生活できるようサービス内容をケアプランに反映している		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	新規入居にあたり事前に家族と面会し不安なことや要望を伺い、安心して生活できるようサービス内容をケアプランに反映している		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	新規入居にあたり事前に本人・家族と面会し不安なことや要望を伺い、安心して生活できるようサービス内容を検討しケアプランに反映している		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	食事の準備や後片付け、ホールや居室、庭掃除など一人一人の能力を活用しながら共に取り組んでいる		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	日用品など購入希望があれば家族へ相談し面会を兼ね持参していただいている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域の行事を把握し、希望があれば見学に出かけるなど住み慣れた地域との関係づくりに努めている	友人・知人の面会や地域行事・寺の法要等の参加、馴染みの理美容室利用、これまでの生活や関係を継続できるよう支援している。手紙や電話の取次ぎの支援も行っている。家族と買い物や墓参り・外食に出かける等、家族の協力を得ながら関係が途切れないよう務めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	お茶やレク・カラオケ・散歩など一緒に関わられる時間を設け参加を呼び掛けている		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後も新たな施設での生活の様子など電話や訪問時、本人や現場スタッフに伺っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	定期的にサービス内容を見直し思いや要望を伺っている。また困難な方に対しては今何が必要かをスタッフ間で話し合いプランへ反映している	日常の会話や表情・仕草・行動等から本人の思いを把握するようしており、意思表示が困難な場合は、表情や行動の変化から複数の案を出して本人に選択してもらっている。職員は、気付きノートや記録で情報を共有し対応している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族や親族、本人から得た情報を基本情報にまとめケース記録へ綴っている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの生活状況を申し送りノートやケース記録に記載し変化があったことなど職員会議で報告し情報把握に努めている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	職員会議で危険性のある内容はリスクマネジメントとして報告し職員の意見を伺いながら危険防止に努めている。また、機能・能力の変化が見られるときは都度サービス担当者会議を開催し家族や本人の意見を反映したプランを作成している	家族の面会日に担当者会議を実施し、事前に本人の意向を把握し職員会議で検討した案や主治医の意見も参考に、介護計画を作成している。3ヶ月毎にモニタリングを実施し、変化がなければ1年毎に計画を見直している。状況変化等の必要時は計画を見直している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日常の変化や気づきなど申し送りノートに記入、全職員目を通すよう情報共有に努めている。また、生活状況などはケース記録に記入している</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>状況の変化に伴い都度サービス内容を見直しケアプランを変更している。また、機能が著しく低下したときなど身体状況に適したサービス事業所の紹介を行っている</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域資源を把握し、住み慣れた地域との関係づくりに努めている（避難訓練などにも地域住民の方へ参加いただいている）</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人、家族の希望される主治医の下定期的に受診を行っている</p>	<p>本人・家族の希望するかかりつけ医での定期受診はホームで対応している。訪問看護師による健康管理及び緊急時のかかりつけ医との協力体制により、適切な医療が受けられるよう支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとれた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>気になった事や体調の変化など看護師へ報告し適切なアドバイスを得ている。また定期受診にも付添えるよう日程を調整し主治医と連携を図っている</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は情報を提供し早期退院に向けて状況確認の連絡を行っている</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化したときの指針を定め家族へ説明し同意を得ている</p>	<p>指針に基づき、契約時に重度化等の場合の対応を説明し同意書を得られている。重度化等の場合は家族の意向に沿って主治医・家族の協力を得ながら支援に取り組む方針である。家族からの看取りの希望は現在はないが、職員は勉強会を実施している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>状態急変時の対応マニュアルを作成し職員会議などで周知している（H28、2月）</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年に2回消防署や地域住民の方にも参加いただき防災訓練を実施している（H27、8月）（H28.3月）</p>	<p>消防署立ち会いの避難訓練を昼夜想定で、年に2回隣接の法人施設と合同で実施している。地域との協力体制も築いている。災害用の食料等は隣接施設に一括して備蓄している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員勉強会にて周知している (H26.8勉強会) (H27.11月人権擁護研修)	接遇や人権擁護の勉強会を実施し、外部研修にも参加している。排泄時のさりげない対応や入浴時のドアの開閉に注意している。名字にさん付けでの呼びかけや個々に応じた言葉遣いで、誇りやプライバシーを損ねない対応をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	余暇時間などを利用し個別に声を掛け希望や思いを伺っている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起きて来られた時点で個別に食事を提供している。また、本人の希望に沿って余暇時間は自由に過ごしていただいている		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	自分で着たい服が選べるよう種類別にタンスに仕分け取りやすくしている。また、重ね着されていても否定せず受け入れている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	事前に本人の嗜好を確認し、苦手な食べ物は栄養士に相談し他の品に変えて提供している。また、盛り付けやテーブル拭き、お盆拭きなど能力に応じた活動と一緒に取り組んでいる	ホームでご飯や味噌汁を作り、隣接施設の厨房で副食を作っている。嗜好調査を行い刻み食等の個々に応じた食事形態で提供している。利用者の力量に応じて職員と一緒に盛り付けや片付けを行っている。誕生日食や行事食は楽しくしたり、隣接施設の喫茶コーナー等にも出かけている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士によるバランスのとれた食事を提供し、食事量なども随時記録、ご飯の量も希望で調整している。水分も1日5回は飲んでいただくよう支援している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後うがいや歯磨きの声掛けを行い、自分でできない方は介助にて口腔ケアを行っている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	失禁のある方の排泄記録を取り時間にて声掛けや誘導を行っている。日中失禁が少ない方は起床時パンツに交換している	日中は個々の排泄パターンに応じてトイレ誘導を行い、トイレでの排泄や排泄の自立を支援している。ほとんどの利用者がトイレでの排泄を行っている。誘導や介助の必要とする時もある。夜間は、利用者に負担のないよう尿器やオムツも必要に応じて使用している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の方は水分強化を図り、改善が見られない方は主治医へ相談し、アドバイスを得ている		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週3回は入浴できるよう声掛けを行い午前・午後入りたい時間に入浴を提供している。拒否がある方は清拭や足浴などを行っている	週3回の入浴を好きな時間を楽しんでいる。見守り支援や同性介助の希望にも対応している。入浴を嫌がる利用者には、タイミングを見て声かけしたり無理強いないせずに翌日にしたり、清拭・足浴で対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	余暇時間は個人のペースで居室やソファなどでくつろいでいただいている。夜間は暗くないと眠れない方がいるためできるだけ暗くするなど希望を受け入れている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬情報を1冊にまとめ、職員全員が目を通すよう申し送っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>テレビやCD、マッサージ機、マイクロ電気、ランニングマシンなど希望に応じて提供している</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>天気のいい日は随時庭に出て施設周辺を散歩している。また、毎月ドライブや買い物など外出の機会を設けたり地域の行事などにも参加している</p>	<p>日常的には敷地内や近隣の散歩を行っている。月1回はドライブで全員が出かけている。年間計画で花見や外食に出かけたり、地域行事や彼岸法要に参加する等、出かける機会を多く設けている。家族の協力で買い物や外食等で外出する利用者もいる。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>家族より小遣いを預かり、購入希望があれば買い物に出かけ日用品など購入している</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話希望があれば家族へ確認し同意を得たうえで電話をかけている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	施設建設の経験豊富な設計業者、建築業者と話し合い設計しており利用者にとっても快適に過ごせる空間となっている	リビングは掃き出し窓から外に出られ、開聞岳を臨み明るくゆったりとしている。温度・湿度に配慮し壁のスペースに飾られた花や作品で季節を感じる工夫をしており、数ヶ所に配置したソファや機能訓練スペース及び仏壇のあるスペースでくつろげるよう配慮されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共同スペースにソファを3か所設け、自由にくつろげるよう配慮している。また、気の合う方同士テーブルが一緒になるよう相性なども考慮し調整している		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居の際、家族や本人と相談しながらベッド位置やダンス、ソファなどの配置を行っている。在宅生活時使い慣れた家具類があれば持参していただくよう声かけている	居室は入り口の縦型手すり及び車椅子対応の洗面台設置の工夫がされ、リースの寝具で清潔に過ごせるよう配慮されている。本人の使い慣れた物や写真等を置いて、利用者が落ち着けるような工夫がされている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホールや廊下・居室入口など至るところに手すりを設け、安全に移動できるよう配慮し余暇時間には立位訓練なども行っている		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない